

## 12. くり

### ・殺菌剤

FRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
1	トップジンMペースト	塗布	病患部削り取り直後	3回以内	
1	ベンレート水和剤	散布	裂果前(但し、収穫 14日前まで)	4回以内	

### ・殺虫剤

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
16	アブロード水和剤	散布	収穫7日前まで	2回以内	
1	スプラサイド乳剤40	散布	収穫前日まで	2回以内	
-	ラビサンスプレー	散布	発芽前	-	

### ・殺虫剤 (参考農薬)

IRAC コード	薬剤名	使用方法	使用時期	使用回数	備考
3	アグロスリン水和剤	散布	収穫7日前まで	5回以内	
3	アディオン乳剤	散布	収穫14日前まで	5回以内	
1	トクチオン乳剤	散布	裂果前まで(但し、 収穫7日前まで)	5回以内	
3+1	パーマチオン水和剤	散布	裂果前(但し、収穫 14日前まで)	4回以内	
14	パダンSG水溶剤	散布	裂果前	3回以内	

注1) 使用回数はその薬剤の使用回数を記載しており、この他に薬剤に含まれる成分毎に、総使用回数が決めているので、農薬ラベル等を確認してそれを超えないように注意する。

注2) 薬剤抵抗性の出現を防ぐため、「FRACコード」や「IRACコード」を参考にしながら他系統剤とのローテーション使用を心掛ける(「薬剤抵抗性管理」参照)。

品種や気象条件により収穫時期が異なるので、薬剤の使用時期（収穫前日数）に注意する。  
農薬の使用回数は、前年の収穫後から本年の収穫までの期間の使用回数であるので注意する。

病 害 虫 名	防 除 時 期	防 除 方 法
炭疽病（実炭疽病）	7月下旬～8月下旬	1. ベンレート水和剤 2,000 倍液を 2～3 回散布する。
胴 枯 病	休 眠 期	1. 幹、太枝をわら等で覆って日焼け防止をする。
	全 期 間	1. 被害部を削り取りトップジンMペーストを塗布する。
クリオオアブラムシ	休 眠 期	1. 越冬卵塊を除去する。
ク ス サ ン	休 眠 期	1. 越冬卵塊を除去する。
	5 月 ～ 6 月	1. 若齢幼虫は群生するので枝ごと切り取り捕殺する。
モモノゴマダラノメイガ	8 月上旬～裂果前	〔参考農薬〕 1. トクチオン乳剤 1,000 倍液、パダン S G 水溶剤 1,500 倍液のいずれかを散布する。 2. パダンは蚕毒に特に注意する（特別指導事項参照）。 3. トクチオンはトマト、メロン等にかかると特異的ににおいが残るので他作物にかからないようにする。
コウモリガ	5 月 ～ 9 月	1. 園内、園周辺の雑草を常に刈り取り清潔にしておく。幼虫の寄生を認めたら虫孔から針金を挿して殺す。
クリタマバチ	栽 植 時	1. 被害の少ない品種を栽培する。
	栽 培 期 間	1. 適切な肥培管理と整枝せん定を行って樹勢を強く保ち、弱小枝は切除する。
カツラマルカイガラムシ	発 芽 前	1. ラビサンスプレーの 50 倍液を、散布むらのないように樹全体に丁寧に散布する。
	6 月末～7月中旬頃	1. アプロード水和剤 1,000 倍液を散布する。
	7 月上旬～中旬頃	1. スプラサイド乳剤 40 の 1,500 倍液を散布する。
クリシギゾウムシ	成虫発生期 (8月～9月)	〔参考農薬〕 1. パーマチオン水和剤 1,000 倍液、アグロスリン水和剤 1,500～3,000 倍液、アディオン乳剤 2,000 倍液のいずれかを散布する。 2. 合成ピレスロイド剤は蚕毒と魚毒に特に注意する（特別指導事項参照）。

【総括注意】

1. スプラサイド、トクチオンは蚕毒が強いので注意する。
2. パダンは水産動植物（魚類・甲殻類・ドジョウ・藻類）に影響を及ぼすので注意する。